

長浜市学校施設等長寿命化計画（案）
パブリックコメント実施結果について

■ 意見募集期間 令和2年11月20日から同年12月21日まで

■ 提出された意見 1人4件

■ 意見内容と意見に対する市の考え方

No.	意見要旨	意見に対する市の考え方
1	<p>今後の地域別児童数減少動向をもとに、学校の統廃合を直近10年の計画に反映していただきたい。現状の小規模校については今後調整が必要とした上で、現時点での統廃合計画も併記したほうがより議論が進むのではないか。</p>	<p>小中学校の統廃合を検討するにあたって前提となる方針はあるものの、現時点で具体的な小中学校の再編計画はありません。再編計画については、本計画とは別途議論を重ね具体案がまとまった段階で本計画の見直しを行うこととなります。</p>
2	<p>体育館は地域住民にとって災害時の避難所ともなるため、校舎以上の基準で評価や維持管理が必要ではないか。一方、近年は公共プール、スイミングスクールも増え、学校プールの必要性は以前と比べて低下しているのではないか。体育施設についてはメリハリのある施策を望む。</p>	<p>体育館、校舎ともに一級建築士等による定期点検を毎年実施するなど適正な維持管理に努めています。また、体育館についてはトイレの洋式化や天井落下防止対策を施すなど、指定（緊急）避難所としての機能も念頭におき改修を講じています。今後は、長寿命化改修や予防保全の考え方に基づいて、引き続き安全で安心できる教育環境の確保に努めます。なお、学校プールについては、1年間のうち実質的な設備使用が短期であることや多額の維持管理費用が必要となることも踏まえ、複数校による共同利用や既存施設の利用を含めた検討を行います。</p>
3	<p>令和2年4月、虎姫小学校、虎姫中学校が統合され虎姫学園が開校した。その結果として評価できる点を次のように考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生（高学年児童）が中学生の部活動を見学、体験することができ、これらは中学生にとっても新鮮で練習における意識面でプラスになる。 ● 地域のスポーツ教室と部活動との連携がとりやすい。 	<p>本市の義務教育学校においては「つなぎ・つながり」をキーワードに義務教育9年間を見通した教育課程の工夫により、子どもたちの確かな学力の定着を図るとともに、異学年や地域との多様な交流により、豊かな人間性と社会性を育むことを基本方針としています。部活動においては5年生または6年生から体験し、合同練習や学年に応じた別メニューにより子どもたちが互いに高めあう工夫をしています。1年生から9年生までの子どもたちがともに生活を送る中で多くの交流が生まれており、他人を思いやる気持ちの育成に繋がっています。</p>
4	<p>今後の児童生徒数の減少に伴って、各学校にどの程度の空き（余裕）教室が生じるのか見積ったうえで、小中学校の統廃合等を進めるよう望む。</p>	<p>小中学校の統廃合について、余裕教室の有無だけを根拠に議論するものではないと考えます。</p> <p>現在、余裕教室は、新学習指導要領等に基づく学習方法・指導方法の多様化に対応するため、少人数教室、多目的室、授業準備室、児童生徒の生活・交流スペースとして使用しているほか、放課後児童クラブ等、今日の教育現場に求められる学習空間として有効活用に努めています。</p>